

2月9日(土)に実施を予定していたてがたんは、雪のため中止になりました。下見の内容をもとに観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。

次回2月のてがたんは3月9日(土)で、テーマは「気にならない木を気にしてみる」です。

市民スタッフのみなさま、次回の下見は3月3日(日)です。

2月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社前→藤棚→市民農園前
- 観察日時と天気：2018年2月3日(下見) 10:00~12:00 晴れ
- 市民スタッフ：7名 (石原直子、伊東茂子、木村稔、小泉伸夫、竹本周平、弘實さと子、湯瀬一栄)
- 鳥博職員：1名 (小田谷嘉弥)

下見で観察した生き物の記録

【鳥類】

カモ科：カルガモ、コガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ/クイナ科：クイナ(声)、バン、オオバン/シギ科：タシギ/カモメ科：クロハラアジサシ/カワセミ科：カワセミ/モズ科：モズ/カラス科：ハシブトガラス、ハシボソガラス/シジュウカラ科：ヤマガラ、シジュウカラ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス(声)/メジロ科：メジロ(声)/ムクドリ科：ムクドリ/ヒタキ科：シロハラ(声)、アカハラ(声)、ツグミ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/アトリ科：カワラヒワ/ホオジロ科：ホオジロ、アオジ、オオジュリン
 家禽や外来種：コブハクチョウ(カモ科)、ドバト(ハト科)

【昆虫】

チョウ目：モンシロチョウ?、ムラサキシジミ、イラガ(まゆ)、ヒロヘリアオイラガ(まゆ)/コウチュウ目：ナナホシテントウ/ハチ目：アカヤマアリ?、ケアリの仲間?/ハエ目：ヒラタアブの仲間、キンバエの仲間、ユスリカの仲間/ゴキブリ目：モリチャバネゴキブリ/カメムシ目：カイガラムシの仲間

【花・実】

花 キク科：セイヨウタンポポ、ノゲシ、オニノゲシ、オニタビラコ、ノボロギク/アブラナ科：ナズナ、タネツケバナ、ミチタネツケバナ/オオバコ科：オオイヌノフグリ/シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ/ハエドクソウ科：トキワハゼ/セリ科：セリ/ナデシコ科：オランダミミナグサ、コハコベ/スミレ科：スミレ/バラ科：ウメ

【ロゼット】

キク科：セイヨウタンポポ、ハルジオン、ヒメジョオン、ヨモギ、ヒメムカシヨモギ、オオアレチノギク、セイタカアワダチソウ、ウラジロチチコグサ、チチコグサモドキ、ノゲシ、オニノゲシ、オオジシバリ、オニタビラコ、/アカネ科：ヤエムグラ/オオバコ科：ツタバウンラン/アブラナ科：タネツケバナ/セリ科：セリ、ヤブジラミ、オヤブジラミ/フウロソウ科：アメリカフウロ/ケシ科：ナガミヒナゲシ/ナデシコ科：オランダミミナグサ

観察した生き物の記録



今回のてがたんのテーマは「光の春を探そう」でした。下見では香取神社まで南向きの斜面のへりを歩きながら植物のロゼットを中心に観察を行いました。暖かい日差しの下、成虫で越冬する昆虫の仲間も活発に行動していました。



今月の案内人 湯瀬一栄さん



① 博物館前にあったハルジオンのロゼット



② 歩道のコンクリートのアメリカフウロのロゼット



③ 歩道沿いにあったノゲシのロゼット



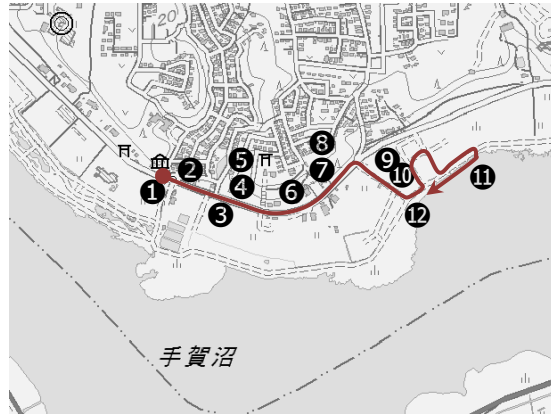
④ 香取神社の下にあったノウサギの轢死体



⑤ 地上で活動していたアカヤマアリ?



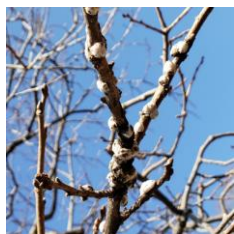
⑦ カラスウリのつるを伝って掘り返すと、栄養をため込んだ塊根（かいこん）が出てきました。



歩いたルートと観察した生き物



⑩ 市民農園の地上で見つけたセイヨウタンポポのロゼット。茎の部分が短く、乾燥や霜に強い形に変化しています。



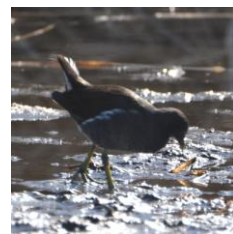
⑥ 梅の枝についていたカイガラムシの仲間



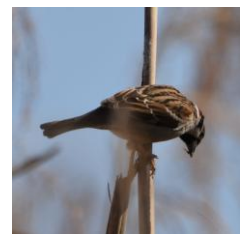
⑧ 乾燥してしおれたカラスウリの実



⑨ 地上で餌を探していたツグミ



⑪ 人工植生帯の干潟で採食していたバン



⑫ ヨシの茎をめくって採食していたスズメ

今月の鳥 オオジュリン スズメ目ホオジロ科

オオジュリンはスズメくらいの大きさのホオジロの仲間です。手賀沼周辺には10月中旬から渡来し、4月上旬まで見られる冬鳥です。沼沿いのヨシ原を好み、ヨシの茎の中にある昆虫を食べるため、茎をパキパキと嘴で割って採食します。風の穏やかな日には、他のホオジロよりも長いトーンで「チューー」と鳴き交わす声がヨシ原のあちこちから聞こえてきます。

オオジュリンのオスは夏羽になると頭部が黒くなりますが、この変化は羽毛の生え換わりではなく、羽毛の外側の褐色の部分が擦り切れて、内側の黒色部が露出してくることによって起こります。そのため、秋から春にかけて徐々に頭が黒くなっていきます。手賀沼のヨシ原に暮らすオオジュリンの頭の色の変化に、春を感じてみてはいかがでしょうか。



頭部が黒く変化したオオジュリンのオス。3月の中ごろになると、オスから先に繁殖地の渡りへと旅立っていきます。